

# 四国電力 伊方原子力が運開

## 四国初の原子力発電

〔伊方=9月30日〕愛媛県西宇和郡伊方町九町越に建設が進められていた四国電力株式会社伊方原子力発電所1号機（PWR型、出力56万6千KW）は、9月30日、使用前官庁検査に合格し、営業運転を開始した。

当社は、三菱重工業株式会社高砂製作所からタービン発電機の据付など2次系全般の工事を受注、49年11月に伊方建設所を設置して本格的な工事に取り掛かり、途中、地理的条

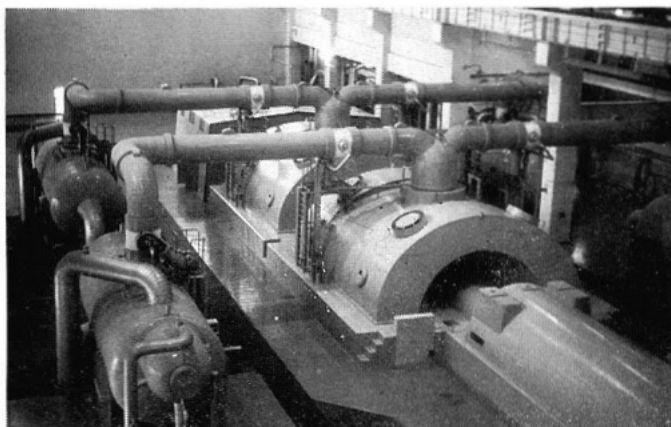
件による機材搬入の困難さなど、多くの障害を克服しながら工事を進めてきた。

さる1月29日初臨界に達した伊方1号機は、2月4日通気を行ない、その後、慎重かつ入念な試験、点検を繰り返して安全性を確認してきた。9月30日行われた国の使用前官庁検査では、係官の厳しいチェックを受け、午後3時30分無事合格、営業運転を開始した。

伊方1号機は、わが国で14基目、四国では初めての原子力発電所で、軽水冷却加圧水型原子炉を採用、出力は56万6,000KWである。その安定供給運転が期待されている。



△ 営業運転を開始した伊方原子力発電所



△ 出力56万6,000KWタービン発電機